

平成30年度 地域発 元気づくり支援金事業総括書

事業名	遊休農地の有効活用と信州蕎麦振興事業
事業主体 (連絡先)	信州蕎麦打ち研究会 (事務局長神津忠治：090-1869-0372)
事業区分	(1) 地域協働の推進に関する事業及び6) 産業振興、雇用拡大に関する事業
事業タイプ	ソフト及びハード
総事業費	2,012,410円 (うち支援金：1,571,000円)

事業内容

- 1 蕎麦打ち講習会の開催
 - ① 住民向け講習会 (15回、90名参加)
 - ② 企業従業員向け講習会 (39回、296名参加)
 - ③ 自主企画イベント (H30.9.29、80名参加)
 - ④ 会員向け講習会での蕎麦粉の消費拡大 (202kg)
- 2 素人そば打ち段位認定大会の開催準備
全麵協が認定する蕎麦打ち用具類を12セット購入
- 3 高品質な佐久平蕎麦粉の提供
真空包装機を購入し、高品質な蕎麦粉を提供
- 4 各種地域イベントへの参加と蕎麦粉の消費拡大
 - ① さらしなの里そば祭りに参加
 - ② 岩村田えびす講への生そばの提供ほか



【蕎麦打ち体験教室】

【目標・ねらい】

- ① 遊休農地の解消とそば栽培
- ② 佐久平蕎麦粉の消費拡大
- ③ 住民向け蕎麦打ち講習会開催
- ④ 佐久地域の蕎麦ブランドの向上

事業効果

※地域活性化のための目標・ねらいに対してどのような効果があったか、項目毎に記載すること。

- ① 遊休農地の解消とそば栽培
遊休農地15haにそばを播種 (民間と共同)
- ② 佐久平蕎麦粉の消費拡大
佐久平産蕎麦粉の消費量 509kg
- ③ 住民向け蕎麦打ち講習会の開催
蕎麦打ち講習会参加者 466人
- ④ 佐久地域の蕎麦ブランドの向上
民間と共同して栽培した佐久平産蕎麦粉を佐久地域内の蕎麦屋さん5店舗で消費拡大しており、そば店を中心に「佐久平蕎麦振興協議会」が発足した。

※自己評価【A】

【理由】
蕎麦打ち人口の拡大と佐久平産蕎麦粉の消費拡大に寄与した。
また、遊休農地15haの有効活用にも寄与できた。

今後の取り組み

※今後、事業効果をどうつなげていくか記載すること。

・佐久地域の遊休農地解消のため100haを目標に、そば栽培を民間企業と共同で進め、佐久平産蕎麦粉の地消地産を推進する。また、いつでも・どこでも・美味しい蕎麦を打てる蕎麦打ち愛好者を増加させる。

※ 自己評価欄は、地域活性化に及ぼす事業効果について、以下から選択のこと。
 「A」：予定を上回る効果が得られた 「B」：予定していた効果が得られた
 「C」：一定の事業効果はあったが事業実施方法や今後の活用等について、工夫や改善を要する点がある